

地域研究センター通信

地域とともに歩み、学び、成長。協働・共創の実践における活動と研究をご紹介します。

開催報告

大蔵谷ヒューマンサイエンスカフェ



↑ 詳細はこちらより

7/27 稲爪神社にて 中山文ゼミ3年生によるリーディング公演『かもめ一二一の夢』
演出家の小原延之氏(本学非常勤講師)の指導を受けた学生たちが、演出をはじめ裏方作業も全て担当して舞台を作り上げました。



9/20 あかし市民図書館にて『わが町の台本を作ろう
—明石市民によるアタシノアカシー』

「明石をテーマに市民劇の台本を作り、リーディング上演をしませんか?」という呼びかけに11名の市民が集まってくれました。当日はゼミ生による上演を鑑賞後、参加者に明石の想い出を語っていただきました。学生からは「戦争、川崎重工、街歩きの本など、知らない明石の姿をたくさん知れた」「高齢者のお話を聞き想像力が掻き立てられた」との感想が寄せられました。10月から始まる戯曲執筆連続ワークショップに、ぜひ多くの方が参加してくださることを願っています。



上記のほかにも以下の講座を開催しました。

7/5 明石ハウスにて『稻光 稲妻 やむことなし—稻爪大明神の物語—』 講師 中村健史(人文学部准教授)

10/4 本学ポーアイキャンパスにて 『林崎掘割と梁田蛻巖』 講師 中村健史(人文学部准教授)

10/11 あかし市民図書館にて『五色塚古墳は畿内倭王権の関所か—旧播磨国東端と西端の前方後円墳の評価—』 講師 用田政晴(人文学部元教授)

8/18 あかし市民図書館にて『たこ文庫×神戸学院大学
ワークショップ—ゲーム感覚で本を紹介しあおう—』

「読書経験を紹介することで自己紹介になる仕組みは楽しい」、「バランスの良いお題が揃ったゲームで、楽しく交流できた」といった声が寄せられました。



9/24 明石ハウスにて『秋の鳴く虫のタベー虫の音の
聞き分け講座—』 (講師 川上靖 人文学部教授)

最年少参加者の小学生は一番前に座り、目を輝かせながら聞いていました。幼少期に虫を捕まえて遊んだことを思い出したと語る参加者も、子どもの時に戻ったようなワクワクした表情でした。クイズ形式で鳴く虫の聞き分け方を学び音に着目することで見えてくる虫の世界が広がっていく素敵なお時間でした。

終了後には、希望者が明石ハウス近くの穂蓼八幡神社(大蔵八幡)の境内で実際に虫の音に聞き入りました。講演で紹介された虫の音も聞くことができました。



大蔵谷ヒューマンサイエンスカフェ開催報告	①
シリーズ観測研究の報告	
地域研究長田センター気象観測データ紹介	②
『ふたば夏の陣』 参加報告	③

今号の内容	
研究こぼれ話 有瀬キャンパスの植生	③
明石ハウス写真展 ウィズフェス2025への出展	③
稻爪神社秋例大祭フィールドワーク速報	③
大蔵谷ヒューマンサイエンスカフェ開催予告	④

地域研究長田センター気象観測データ紹介（4）平均風速

人文学部 准教授 福島あづさ

地域研究長田センターでは屋上に気象観測器を設置し、気温、風速風向、相対湿度、雨量、日射量、紫外線A・B波、気圧の観測を行っています。前号から連載形式で、これまでの観測データを公表し、簡単な解説を加えた記事を掲載しています。第4回は平均風速です。

表1 長田センターで観測した平均風速の月平均値（2012～2020年）

単位（m/s）

	平均風速												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均値
2012	1.9	2.0	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1	2.4	2.0	1.5	1.8	2.1	1.98
2013	1.9	1.7	1.8	2.2	1.9	2.0	2.3	2.1	-	1.9	2.0	2.0	1.98
2014	1.6	1.4	1.8	1.9	2.0	2.2	2.2	2.4	1.7	1.8	1.5	2.4	1.91
2015	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0	2.0	2.2	2.0	1.6	1.7	1.5	1.7	1.87
2016	2.0	2.0	1.5	1.9	2.0	1.9	2.1	2.2	1.7	1.5	1.4	1.7	1.83
2017	2.0	2.0	1.8	2.0	2.1	-	2.2	2.2	1.8	-	1.5	2.1	1.97
2018	2.1	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	2.3	2.3	2.0	1.8	1.3	1.7	1.93
2019	1.6	1.5	1.8	1.9	1.8	2.1	2.0	2.5	1.9	1.7	1.5	1.5	1.82
2020	1.9	1.7	1.8	2.2	2.0	2.0	2.2	2.1	2.0	1.5	1.5	2.0	1.91

※2013年9月と2017年6月、10月は測器のトラブルで欠測日が生じたため、値を掲載しない。それにともない一番右の年平均値を薄グレーで示している。

に海が控える平坦な埋め立て地で、周辺は大きなビルやマンションが密集しており、地表面での摩擦が大きく風速が低減していることが予想されます。長田センターは、長田港まで400mほどですが、周辺に住宅等の小規模な低層建築物が密集しており、地表面での摩擦が大きくなりやすい一方で、長田センターは、長田港まで400mほどですが、周辺に住宅等の小規模な低層建築物が密集しており、地表面での摩擦が大きく風速が低減していることが予想されます。

神戸地方気象台の日最大風速のランキングを見ると、第1位は1950年9月3日に観測された33.4m/sの北東の風、第2位は2017年10月23日に観測された30.7m/sの北北西の風です。2017年は同じ日に最大瞬間風速45.9m/sを記録して、日最大瞬間風速記録の歴代3位に入っています。長田センターでは、2017年10月22日午前から29日午前まで欠測しており、記録が取れていません（注）

図1は、各月の平均風速について、長田センターと神戸地方気象台のデータを比較したグラフです。気象庁のデータを見ると、風速の値が大きいのは10月ですが、長田センターでは8月が最も大きく、10月の値が小さめに出ていることがわかります。風速が最も小さくなる月は11月で共通しています。また長田センターでは、4月から8月にかけての風速が他の季節より大きめの値で推移しています。

図2は2012年から20年までの経年変化をみたものです。気象庁、長田センターとともに年平均値には大きな経年変動は見られません。一方で10月の平均値は年によって大きく変動しています。9月、10月は台風の通過等によって強風が観測されることが多く、前述の2017年10月22日、23日に近づいた台風21号は日本に近づいた22日の最低気圧が910hPa、最大風速も100ノット（約51.4m/s）に達し、神戸では歴代2位に入る強い風を観測しました。このように台風のような風速が大きくなる現象の有無や数、性質（風が強い台風かどうか）が、月の平均風速に影響を及ぼしていることがわかります。次回は最大瞬間風速を掲載する予定です。

[参考文献]

気象庁（2017）日々の天気図、No.189. (<https://www.data.jma.go.jp/yoho/data/hibiten/2017/1710.pdf>) .
デジタル台風2017年台風21号（LAN） <https://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/summary/wnp/s/201721.html.ja>

※注

これまでのデータ紹介(1)～(3)に掲載した日平均気温、日最高気温、日最低気温についても、それぞれ2017年10月の値は、2017年10月22日～29日にデータ欠測があったことを考慮し、慎重に議論する必要があります。本来なら2017年6月等と同様に、値を表示しない処理をすべきところ、欠測の見落としがあり表示しております。

表1に、2012年から2020年までの各月の平均風速の値を示しました。平均風速とは、各観測時刻の前10分間の平均風速のこと、「風の息」と呼ばれるような自然の風の揺らぎ（短時間の規則的な変動）を除いた安定した風速を得るためにこのような測定方法をとっています。最大風速は、この平均風速値のうち一定期間の最大値（日最大風速なら1日の最大値）を指します。長田センターの観測期間全体の平均値は1.9m/sでした。神戸地方気象台の同期間の平均値は3.67m/sですので、長田センターは神戸地方気象台の半分程度の平均風速であることがわかります。一般に風速は観測される地点周辺の地表面環境に大きく影響を受けます。神戸地方気象台は、南東約200m、公園、幹線道路などが分布するため風速が大きくなりやすい一方で、長田センターは、長田港まで400mほどですが、周辺に住宅等の小規模な低層建築物が密集しており、地表面での摩擦が大きく風速が低減していることが予想されます。なお、気象庁で風速の記録

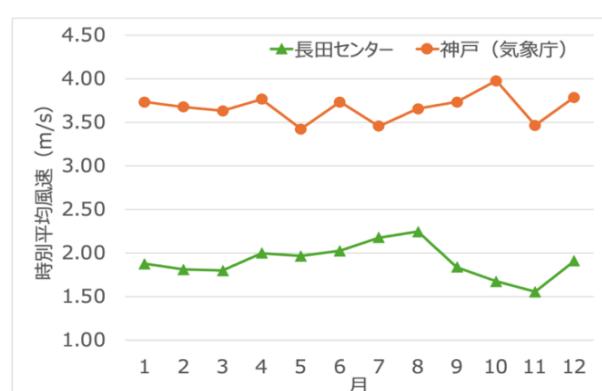


図1 長田センターと神戸地方気象台における平均風速の月別変化（2012～2020年の平均値）

緑▲：長田センター、オレンジ●：神戸地方気象台

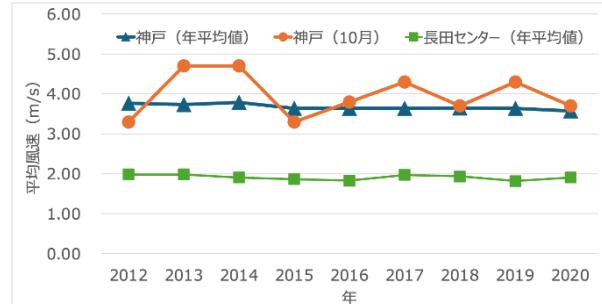


図2 神戸地方気象台と長田センターにおける平均風速の月別変化（2012～2020年の平均値）

青▲：神戸地方気象台の年平均値、オレンジ●：神戸の10月の月平均値、緑■：長田センターの年平均値

研究こぼれ話

有瀬キャンパスの植生

人文学部 講師 鈴木 遥

地域研究センターでは、2025年6月1日(日)に『朝霧川源流を訪ねて—朝霧川源流域の自然・歴史・暮らしを探求—』と題したフィールドワーク・ワークショップを開催しました。その時の配布資料にお示しした森林植生図について紹介させていただきます。

森林を観察する上では、樹冠投影図と森林植生図という二つの図をつくります。樹冠投影図は、空の上から樹木を見下ろした時に樹木の樹冠(葉全体の広がり)がどのようになっているかを表したもので、とはいっても、上空から樹木を見下すことはなかなか難しいので、一般的には地上から空を見上げて樹冠をスケッチします。樹冠の大きさが分かると、その樹木の幹の成長具合を推定することができます。ですので、樹木から木材を生産する場合などは、樹冠の情報が非常に役に立つわけです。

森林植生図は、森林の断面を描いたものです。図1は、私が作成した有瀬キャンパスの弓道場近くの森林植生図です。

実はこの図は、どのような樹木がこの場所にあるのかを伝えることを目的とした、かなりシンプルなものでした。本来は、斜面経度を測り、それぞれの樹木の位置、幹の太さ、高さを計測した上で描きます。そうすることで、森林がいくつかの層に分かれていることや、今後どんな樹木が大きくなっていくのかというようなことを理解することができます。

これから紅葉が美しい季節になります。ぜひお気軽に有瀬キャンパスにお立ち寄りください。

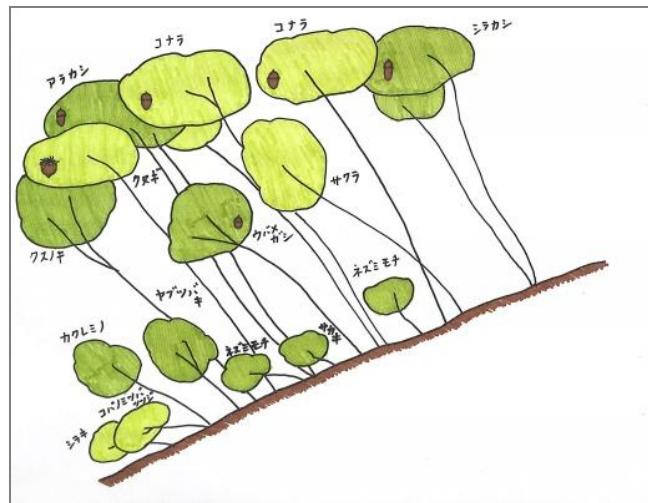


図1 神戸学院大学有瀬キャンパス弓道場周辺の森林植生の断面図
出典：2025年5月22日の現地観察にもとづき鈴木作成

長田地域・活動報告

地域研究長田センターで子供向けワークショップを開催しました 人文学部 准教授 福島あずさ

ふたば学舎(神戸市長田区)で開催される「ふたば夏の陣2025」のイベントの一つとして「台風とともにやってくる高潮ってなに? ~高潮のしくみを実験で知ろう~」と題するワークショップを8月9日(土)に開催しました。

人文学部3年次生1名が学生スタッフとして参加しました。参加者は事前申し込みのあった1組4名(小学生・幼児計3名と保護者1名)で、人数が少なかったこともあります。アットホームな雰囲気の中で、モニターを使った解説、高潮の再現実験、潮位の計算、高潮ハザードマップを使ったふたば学舎周辺の高潮リスクを考える実習を進めました。最後に、長田センター屋上の設置している気象観測器の見学会をしました。

参加者のお住まいの地域のハザードマップと一緒に確認したり、何度も実験して結果がなぜ違ったのかを考えてみたりと、非常に双方向性の高いワークショップとなりました。広報に課題が残るもの、地域の方に高潮のリスクを認知していただくよい機会になったと思います。

2025/10～ 明石ハウスで写真展を開催します

明石ハウス担当 柴田 英里



明石市大蔵八幡町に開設している地域と大学の交流拠点「明石ハウス」では、現在、お借りしている古民家にまつわる写真展を開催しています。

この家であたたかく紡がれた日々をご覧ください。

11月開室日:6日(木)、20日(木)10時～15時

急な変更の場合があります。明石ハウス前の掲示をご参考ください。



明石ハウス（大蔵邸）



12/14 「ウィズフェス 2025」で

「稻爪神社 秋の大祭の写真・映像展」を行います

人文学部 鈴木 遥

明石で活動する多様な人々が活動内容やワークショップなどを通じて交流するイベント「ウィズフェス」で、本学人文学部の1年生ゼミ(三田・鈴木ゼミ)が「稻爪神社秋の大祭の写真・映像展」を行います。ぜひお立ち寄りください！
日時:2025年12月14日(日)
10:00～15:30(ウィズフェスは13日も開催)

場所: ウィズあかし 7階～9階



→ ウィズフェス 2025

複合型交流拠点 ウィズあかし
〒673-0886 明石市東仲ノ町6番1号
アスピア明石北館7～9階
TEL:078-918-5600
FAX:078-918-5618

公共交通機関をご利用の場合
JR神戸線または山陽電鉄「明石駅」下車、南口ロータリーに出て左手。徒歩約3分。

駐車場について
専用の駐車場はありません。
アスピア明石駐車場は有料でのご利用になります。



今年も人文学部生たちが稻爪神社秋祭りに参加しました



10月11日(土)、12日(日)の両日、明石市大蔵本町の稻爪神社で秋例大祭が斎行され、本学人文学部の学生100名以上が献灯やたい、女衆御輿の担ぎ手として参加しました。

10/26(日) 10時～12時
江井島海岸の藻が教えてくれること
ー身近な環境の保全について考えるー
 場所:あかし市民図書館 研修室
 講師:鈴木 遥(人文学部 講師)
 申込:10/12より あかし市民図書館まで

10/30、11/13、12/4、12/18
 各回 15時～17時
 執筆ワークショップ **わが町の台本を作ろう**
ー明石市民によるアタシノアカシー

11/19 18時～19時
中世の厳島参詣と瀬戸内海交通
ー平氏一門の厳島信仰を中心にー
 場所:明石ハウス
 講師:曾我部 愛(人文学部 准教授)
 申込不要

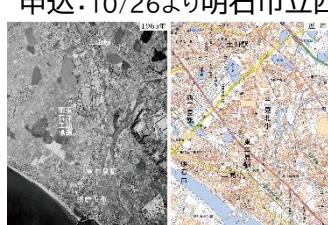
明石をテーマに市民劇の台本を作り、リーディング上演をしませんか？台本って、どうやって作るの？ 市民劇って、リーディング上演ってなに？ どうぞご安心を。プロの劇作家が台本執筆を親切に指導します。ぜひあなただけの「アタシノアカシー」を創作してください。

場所:あかし市民図書館 研修室
 講師: 中山文(人文学部 教授)
 小原延之(人文学部非常勤講師・劇作家・演出家)
 申込:あかし市民図書館まで

2026/2/8 13時～15時
 あかし市民図書館にて(予定)
マイノリティと向き合う
-メデイア・リテラシーとエコロジーを身につける-
 講師 金 益見(人文学部 准教授)

12月21日(日) 11:00～12:30
 あかし市民図書館にて
明石市民によるアタシノタカシ
発表会＆アフタートーク

2026/2/28 13時～15時
 あかし市民図書館にて(予定)
時間がない！を卒業したい人のための
スケジューリング入門
 講師 新居田 久美子(人文学部 講師)



←地理院地図
から見る両工場の変遷

地域研究長田センター (旧二葉小学校) ふたば学舎3階



地域研究長田センターは、地域と協働した実践的な研究を行う拠点として2010年11月に開設されました。開設時に地震・気象計測システムを設置し、今まで観測を続けています。データ研究の一部を神戸市委託事業「異常高温対策に関する調査報告(2018年度)」に活用しました。

また、地域研究や社会学などを履修する学生の長田地域におけるフィールドワーク活動も行われています。

活動拠点

明石ハウス

〒673-0871明石市大蔵八幡町5-23

Tel 078-995-5414

明石ハウスは、神戸学院大学が大蔵八幡町にお借りしている研究活動拠点です。建物（大塩邸、明治30年代後半築）は、明石市の都市景観形成重要建築物に指定されています。



- バス：神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分
- 電車：JR「明石駅」下車、徒歩15分、山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分
- 車：大蔵海岸西駐車場（有料）をご利用ください

アクセス



神戸学院大学 地域研究センター通信

〒651-2180神戸市西区伊川谷町有瀬518 TEL : 078-974-4232 FAX : 078-974-4258

<https://card-kobegakuin.jp> E-mail : frb@human.kobegakuin.ac.jp

発刊：2025年11月 発行：神戸学院大学地域研究センター（有瀬キャンパス3号館6階）